

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-266028
 (43)Date of publication of application : 15.10.1993

(51)Int.Cl. G06F 15/21

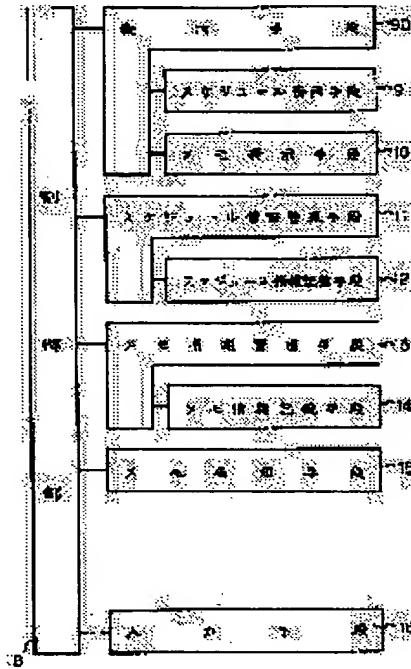
(21)Application number : 04-092074 (71)Applicant : MITSUBISHI ELECTRIC CORP.
 (22)Date of filing : 18.03.1992 (72)Inventor : IWAI HIROKO
 NAKAZAWA TOSHIO
 MAEDA YOJI

(54) SCHEDULE CONTROL SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To attain the unitary control of the schedule information by securing the connection between a registered schedule and its relative items and also to prevent the schedule mistakes by announcing the expiration of the time limits of the schedule relative items.

CONSTITUTION: A memo information storage means 14 stores the schedule information stored in a schedule information storage means 12 and the memo information related to the schedule information. A memo information control means 13 registers, changes and deletes the contents of the means 14. A memo display means 10 shows the contents of the means 14 on a display means 90. A memo announcing means 15 shows the corresponding memo contents on the means 90 to announce the memo time limit based on the information on the non-corresponding one of the memo information items stored in the means 14.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-266028

(43)公開日 平成5年(1993)10月15日

(51)Int.Cl.⁶
G 0 6 F 15/21

識別記号 庁内整理番号
L 7925-5L

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2(全 12 頁)

(21)出願番号 特願平4-92074

(22)出願日 平成4年(1992)3月18日

(71)出願人 000006013

三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

(72)発明者 岩井 裕子

鎌倉市大船五丁目1番1号 三菱電機株式会社情報電子研究所内

(72)発明者 中沢 優夫

鎌倉市大船五丁目1番1号 三菱電機株式会社情報電子研究所内

(72)発明者 前田 陽二

鎌倉市大船五丁目1番1号 三菱電機株式会社情報電子研究所内

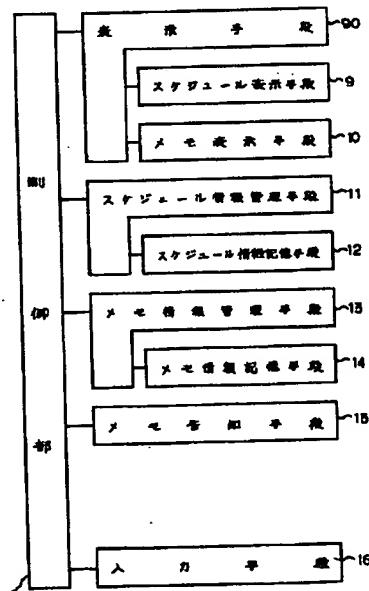
(74)代理人 弁理士 宮園 純一

(54)【発明の名称】 スケジュール管理システム

(57)【要約】

【目的】 登録したスケジュールと関連事項を結び付けることによりスケジュール情報を一元的に管理することができるようになり、またスケジュールの関連事項の期限切れを告知することによりスケジュールのミスを防ぐことができるようになる。

【構成】 メモ情報記憶手段14にはスケジュール情報記憶手段12に記憶されたスケジュール情報と関係付けを持つメモ情報が記憶され、メモ情報管理手段13はメモ情報記憶手段14の内容の登録/変更/削除を行う。メモ表示手段10はメモ情報記憶手段14の内容を表示手段90に表示させる。メモ告知手段15は、メモ情報記憶手段14に記憶されたメモ情報項目のうちの未対応分の情報でメモ告知期限になったとき当該メモ内容を表示手段90に表示して告知する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 スケジュールするための情報や操作情報などを入力する入力手段と、この入力手段からの情報に従ってスケジュール情報の登録／変更／削除を行なうスケジュール情報管理手段と、上記スケジュール情報を記憶するスケジュール情報記憶手段と、上記スケジュール情報記憶手段に記憶されたスケジュール情報を表示手段に表示させるスケジュール表示手段とを備えたスケジュール管理システムにおいて、上記スケジュール情報記憶手段に記憶されたスケジュール情報と関係付けを持つメモ情報を記憶するメモ情報記憶手段と、このメモ情報記憶手段の内容の登録／変更／削除を行なうメモ情報管理手段と、上記メモ情報記憶手段の内容を上記表示手段に表示させるメモ表示手段と、上記メモ情報記憶手段に記憶されたメモ情報項目のうちの未対応分の情報でメモ告知期限になったとき当該メモ内容を上記表示手段に表示して告知するメモ告知手段とを設けたことを特徴とするスケジュール管理システム。

【請求項2】 スケジュールするための情報や操作情報などを入力する入力手段と、この入力手段からの情報に従ってスケジュール情報の登録／変更／削除を行なうスケジュール情報管理手段と、上記スケジュール情報を記憶するスケジュール情報記憶手段と、上記スケジュール情報記憶手段に記憶されたスケジュール情報を表示手段に表示させるスケジュール表示手段とを備えたスケジュール管理システムにおいて、上記スケジュール情報記憶手段に記憶されたスケジュール情報と関係付けを持つメモ情報を記憶するメモ情報記憶手段と、このメモ情報記憶手段の内容の登録／変更／削除を行なうメモ情報管理手段と、上記メモ情報記憶手段の内容を上記表示手段に表示させるメモ表示手段と、上記メモ情報記憶手段に記憶されたメモ情報項目のうちの未対応分の情報でメモ告知期限になったとき当該メモ内容を上記表示手段に表示して告知するメモ告知手段と、スケジュール情報のガイドンスを行なうためのガイドンス情報を記憶するガイドンス記憶手段と、上記ガイドンス情報の登録／変更／削除を行なうガイドンス管理手段とを設けたことを特徴とするスケジュール管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は各個人が作業等のスケジュールをたてるときにそのスケジュールに関連した項目を同一システム上に記憶させスケジュール情報の管理を一元化して行なうスケジュール管理システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 図9は特開平01-175069号公報に示されるような従来のスケジュール管理システムの構成を示すブロック図である。図9において、5はスケジュールするための情報や操作情報などを入力する入力手

段、3は入力手段5からの情報に従ってスケジュール情報の登録／変更／削除を行なうスケジュール情報管理手段、4は上記スケジュール情報を記憶するスケジュール情報記憶手段と、2はスケジュール情報記憶手段4に記憶されたスケジュール情報を表示するスケジュール表示手段、1はスケジュール表示手段2、スケジュール情報管理手段3、スケジュール情報記憶手段4及び入力手段5を制御する制御部である。

【0003】 図10はこの従来のスケジュール管理システムにおいて表示されたスケジュール表示画面例を示す図である。図10において、6は登録されたスケジュールを視覚的に表すバー、7はバー6を特定する期間およびその内容などのスケジュール情報を表示している。

【0004】 次に動作について説明する。スケジュールを登録する場合、入力手段5を操作してスケジュール情報管理手段3の中のスケジュール情報記憶手段4からスケジュール情報を取り出し、制御部1を介してスケジュール表示手段2上に表示する。例えば図10に示すようなスケジュール部分がバー6で表示される。また、入力手段5を操作することにより、このバー6で表示されるスケジュール部分の詳細な内容はスケジュール情報としてスケジュール表示手段2に表示することができる。このように一般にスケジュール管理と呼ばれるものはその時の行動に関する登録し管理する。スケジュール管理システムへのスケジュール登録時に入力した内容を基に各手段の動作が成り立っている。つまり、スケジュールの対象となる行動の内容、期間、場所、備考などをキーワードにスケジュールの表示、登録、変更、削除を行なっている。

【0005】 しかし、実際にはスケジュールは登録した内容、期間、場所、備考などの情報だけで成り立つものではない。登録したスケジュールの前後にはそのスケジュールに関連する項目が存在することが多い。これらはスケジュールとして登録できないような、曖昧なものであったり、登録者の覚書であったりする。

【0006】 例えば、会議をスケジュールとして登録すると、その関連する項目とは会議開催通知書の作成、会議室の確保、参加者の確認、配布資料の作成とそのコピー、会議室の備品の確認(OHP、黒板など)、議事録の作成、次回の予定の確認など挙げられる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 従来のスケジュール管理システムでは、上記の通り登録したスケジュールに関連する情報を持たないので、スケジュールを成立させるためにはメモ帳、備忘録、手帳により関連事項を見返してからスケジュールを登録しなければならなく、これでは、情報が分散し、最悪の場合には見落とすことも考えられる。

【0008】 この発明は上記のような問題点を解決するためになされたもので、登録したスケジュールと関連事

項を結び付けることによりスケジュール情報を一元的に管理することができるようにして、また、スケジュールの関連事項の期限切れを告知することによりスケジュールのミスを防ぐことができるようにして、更に、登録したスケジュールの種類に合わせたガイダンスを誰にでも参照／引用できるようにすることによりスケジュールのミス防止や教育を行なえるようにしたスケジュール管理システムを提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明に係るスケジュール管理システムは、スケジュール情報記憶手段12に記憶されたスケジュール情報と関係付けを持つメモ情報を記憶するメモ情報記憶手段14と、このメモ情報記憶手段14の内容の登録／変更／削除を行なうメモ情報管理手段13と、上記メモ情報記憶手段14の内容を表示手段90に表示させるメモ表示手段10と、上記メモ情報記憶手段14に記憶されたメモ情報項目のうちの未対応分の情報でメモ告知期限になったとき当該メモ内容を上記表示手段90に表示して告知するメモ告知手段15を備えたものである。

【0010】請求項2の発明に係るスケジュール管理システムは、更に、スケジュール情報のガイダンスを行なうためのガイダンス情報を記憶するガイダンス記憶手段61と、上記ガイダンス情報の登録／変更／削除を行なうガイダンス管理手段60とを備えたものである。

【0011】

【作用】請求項1の発明において、メモ情報記憶手段14はスケジュール情報記憶手段12に記憶されたスケジュール情報と関係付けを持つメモ情報を記憶する。メモ情報管理手段13はメモ情報記憶手段14の内容の登録／変更／削除を行なう。メモ表示手段10はメモ情報記憶手段14の内容を表示手段90に表示させる。メモ告知手段15はメモ情報記憶手段14に記憶されたメモ情報項目のうちの未対応分の情報でメモ告知期限になったとき当該メモ内容を表示手段90に表示して告知する。

【0012】請求項2の発明において、ガイダンス記憶手段61はスケジュール情報のガイダンスを行なうためのガイダンス情報を記憶する。ガイダンス管理手段60は上記ガイダンス情報の登録／変更／削除を行なう。

【0013】

【実施例】

実施例1. 図1は請求項1の発明の一実施例に係るスケジュール管理システムの構成を示すブロック図である。図1において、16はスケジュールするための情報や操作情報などを入力する入力手段、11は入力手段16からの情報に従ってスケジュール情報の登録／変更／削除を行なうスケジュール情報管理手段、12はスケジュール情報を記憶するスケジュール情報記憶手段、9はスケジュール情報記憶手段12に記憶されたスケジュール情報を表示手段90に表示させるスケジュール表示手段で

ある。また、14はスケジュール情報記憶手段12に記憶されたスケジュール情報と関係付けを持つメモ情報を記憶するメモ情報記憶手段、13はメモ情報記憶手段14の内容の登録／変更／削除を行なうメモ情報管理手段、10はメモ情報記憶手段14の内容を表示手段90に表示させるメモ表示手段、15はメモ情報記憶手段14に記憶されたメモ情報項目のうちの未対応分の情報でメモ告知期限になったとき当該メモ内容を表示手段90に表示して告知するメモ告知手段である。8は上記各手段を制御する制御部である。

【0014】即ち、メモ情報記憶手段14は、あるスケジュールに関係した項目をメモ情報として格納する手段で、スケジュールを登録した個人、日時を判別することによりスケジュール情報とメモ情報を関係づけるものである。メモ情報には、そのメモが属するスケジュール情報を判別するための登録した個人、日時情報を持つほかメモ内容／メモ告知日付／メモ完了区分／備考を記憶する。メモ表示手段10は、ある個人の特定されたスケジュールの関連項目の表示要求により、このスケジュール情報と関係づけられたメモ情報をメモ情報記憶手段14から検索し、表示手段90に表示する。表示内容はメモ情報記憶手段14が保有する項目を表示する。メモ情報管理手段13は、あるスケジュールのメモ情報を登録／変更／削除する手段であり、メモ情報記憶手段14に格納された情報を操作する。メモ告知手段15は、メモ情報項目の未対応分の情報でメモ告知日付になった場合、メモ内容の早急対応を知らせる告知を行う。

【0015】図2はある個人の1週間分のスケジュールをスケジュール表示手段9により表示手段90に表示したスケジュール表示画面例である。図2において、17はスケジュール情報の登録を行うスケジュール登録キー、18はスケジュール削除キー、19はスケジュール変更キー、20は詳細スケジュール表示キー、22は前週スケジュール表示キー、23は翌週スケジュール表示キー、24は表示日付変更キー、25はスケジュール表示終了キー、26は表示スケジュールスクロールキー、21はメモ情報の操作口なるメモ状況表示キー、27は告知マーク、28はメモ登録なしスケジュールバー、29はメモ登録ありを示すスケジュールバーである。

【0016】図3は図2で示したある個人のスケジュールに関連するメモをメモ表示手段10により表示手段90に表示したメモ登録状況一覧画面の例である。図3において、30は登録状況表示キー、31はメモ引用キー、32はメモ登録状況表示終了キー、33は登録スケジュールスクロールキー、34はメモ登録有無区分である。

【0017】図4は図3で示したスケジュールに登録されたあるスケジュールのメモをメモ表示手段10により表示手段90に表示した登録メモ一覧表示画面の例である。図4において、35はメモ追加キー、36はメモ削

除キー、37はメモ変更キー、38はメモ対応完了キー、39は完了取り消しキー、40は処理実行キー、41は登録メモ一覧表示終了キー、42は登録メモスクロールキー、43は登録メモ内容、44はメモ告知日時、45はメモ完了区分、46は備考である。

【0018】次にこの実施例の動作について図1～図4を参照して説明する。メモ情報の追加／変更／削除／完了の例を挙げる。これは本人以外にも許可された者からの処理にも応じる。メモ情報の追加／変更／削除を行うには、入力手段16によりシステム内に受け取ったメモ情報とそのメモと関連するスケジュール情報を制御部8を通じ指示されたスケジュール情報をキーにメモ情報管理手段13の中のメモ情報記憶手段14を検索しその該当部分のメモ情報の追加／変更／削除を行う。

【0019】その操作の一例を図を用いて説明する。スケジュール表示画面例を示す図2中のメモ状況表示キー26を選択することによりメモ登録状況画面例を示す図3の内容を表示する。図3中のメモ登録状況区分34が有のものを1つ登録状況キー30で選択すると登録メモ一覧画面例を示す図4の内容を表示する。図4上ではメモ追加キー35、メモ削除キー36、メモ変更キー37の該当する処理キーを選択し操作を行う。

【0020】メモ情報の追加にはメモ追加キー35を選択して操作すると、登録メモ内容43欄内の表示メモ内容の最下行の下に入力用カーソルが出現しメモ内容の入力を待つ。入力後タブキーでメモ告知日時44欄内にカーソルを移動させ告知日時の入力をを行う。さらにタブキーを押下するとカーソルは備考46の欄内に移動する。以上の入力が終ったところで処理実行キー40を選択して操作すると、メモ情報の追加処理が行われ、完了する。

【0021】メモ情報の削除にはメモ削除キー36を選択して操作すると、登録メモ内容43の表示メモ内容の最下行の下に入力用カーソルが出現しメモ内容の入力を待つ。そのカーソルを上下に移動させ削除したいメモ情報の行に置く。そして処理実行キー40を選択して操作すると、メモ情報の削除処理が行われ、完了する。

【0022】メモ情報の変更にはメモ変更キー37を選択して操作すると、登録メモ内容43の表示メモ内容の最上行に入力用カーソルが出現する。次にタブキーと矢印キーでカーソルを変更させたい部分に移動させ変更入力する。入力が終ったところで処理実行キー40を選択して操作すると、メモ情報の変更処理が行われ、完了する。

【0023】メモ情報の完了処理にはメモ対応完了キー38を選択して操作すると、メモ完了区分欄45内にカーソルが出現するので処理対象部分にカーソルを移動させ、処理実行キー40を選択して操作する。メモ対応完了取り消し処理には完了取り消しキー39を選択して操作すると、メモ完了区分欄45内にカーソルが出現する

ので処理対象部分にカーソルを移動させ処理実行キー40を選択して操作する。

【0024】実施例2. 図5は、週間スケジュール状況表示画面例を示す図2の告知マーク27を指定することにより、その該当日付に告知期限が過ぎたするメモ情報をメモ情報記憶手段14から抽出し表示する期限切れメモ告知一覧表示画面の例である。図5において47は期限切れメモを持つ対象スケジュール情報を示し、48は期限切れメモ内容を示す。

【0025】図6は、メモ登録状況一覧画面例を示す図3の引用キー31の指定により表示したガイダンス引用表示画面の例である。図6において、49はガイダンス内容、50はガイダンスマemo内容、51はガイダンス展開キー、52はガイダンス内容スクロールキーである。この画面を実現するには図1の処理構成を図8の処理構成に変更する。つまり60のガイダンス管理手段と61のガイダンス記憶手段を追加する。ガイダンス記憶手段61はスケジュール情報のガイダンスを行なうためのガイダンス情報を記憶する。ガイダンス管理手段60はガイダンス情報の登録／変更／削除を行なう。図7は、ガイダンス登録／変更／削除表示画面例である。図7において、53はガイダンスキーワード、54はガイダンス登録メモ、55はガイダンス登録キー、56はガイダンス削除キー、57はガイダンス変更キー、58は処理実行キー、59はガイダンス登録メモスクロールキーである。

【0026】ガイダンスの引用例を挙げる。このガイダンスはメモ情報を新規登録時に使用する。図3のメモ登録状況一覧画面例の画面上でメモ登録有無区分34が無い登録スケジュール内容の1つを特定し引用キー31を選択する。それにより登録スケジュール内容と同種類のガイダンス内容49のガイダンスをガイダンス管理手段60を通じガイダンス記憶手段61からガイダンス引用画面(図6)上に表示する。この画面上の情報を参照し引用して使用したいときはガイダンス展開キー51を選択すると図4の登録メモ一覧画面上に展開する。

【0027】このガイダンス引用画面の項目を作成するには図7に示すようなガイダンス登録／変更／削除表示画面例を使用する。ガイダンス新規登録時にはガイダンス登録キー55を選択しキーワード53、ガイダンス登録メモ54を入力し処理実行キー58を選択することによりガイダンス記憶手段61に格納する。ガイダンスの削除には、ガイダンス削除キー56を選択し削除対象ガイダンス登録メモ54を特定して処理実行キー58を選択することにより、削除対象データをガイダンス記憶手段61から削除する。ガイダンスの変更には変更したいキーワード53またはガイダンス登録メモ54の対象文字を変更入力後処理実行キー58を選択することによりガイダンス記憶手段61の内容を変更する。

【0028】前記の画面は本発明の一実施例である。そ

そのため画面上の表示文言をかえることにより他の用途に使用できる。また他システム（例えば電子メールシステム）と本発明のスケジュール管理システムを連動させる事も可能である。

【0029】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、スケジュール情報記憶手段に記憶されたスケジュール情報と関係付けを持つメモ情報を記憶するメモ情報記憶手段と、このメモ情報記憶手段の内容の登録／変更／削除を行なうメモ情報管理手段と、上記メモ情報記憶手段の内容を表示手段に表示させるメモ表示手段と、上記メモ情報記憶手段に記憶されたメモ情報項目のうちの未対応分の情報手段でメモ告知期限になったとき当該メモ内容を表示手段に表示して告知するメモ告知手段とを設けて構成したので、登録したスケジュールと関連事項とが結び付けられ、スケジュール情報を一元的に管理でき、また、スケジュールの関連事項の期限切れが告知され、スケジュールのミスが防止できるという効果が得られる。即ち、本発明によれば、スケジュールに関連する項目の洗い出しや実績管理を容易にする他、関連項目の遅延に対する督促を行なうことができ、これにより作業の流れや付帯作業の量を利用者本人が認識できてスケジュールの大幅な延滞を防ぐことができる。また、項目毎に遅延を告知でき、これによりスケジュール全体への影響が分り易く、再スケジュール等の対策を早期に行なうことができる。

【0030】また、本発明によれば、更に、スケジュール情報のガイダンスを行なうためのガイダンス情報を記憶するガイダンス記憶手段と、ガイダンス情報の登録／変更／削除を行なうガイダンス管理手段とを設けて構成したので、登録したスケジュールの種類に合わせたガイダンスを参照／引用でき、スケジュールのミス防止や教育を行なえるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】請求項1の発明の一実施例に係るスケジュール管理システムの構成を示すブロック図である。

【図2】この実施例においてある個人の週間スケジュール状況を示す表示画面の一例を示す図である。

【図3】この実施例においてメモ登録状況一覧表示画面の一例を示す図である。

【図4】この実施例において登録メモ一覧表示画面の一例を示す図である。

【図5】この実施例において期限切れメモ告知一覧表示画面の一例を示す図である。

【図6】請求項2の発明の一実施例においてガイダンス引用表示画面の一例を示す図である。

【図7】この実施例においてガイダンス登録表示画面の一例図を示す図である。

【図8】請求項2の発明の一実施例に係るスケジュール管理システムの構成を示すブロック図である。

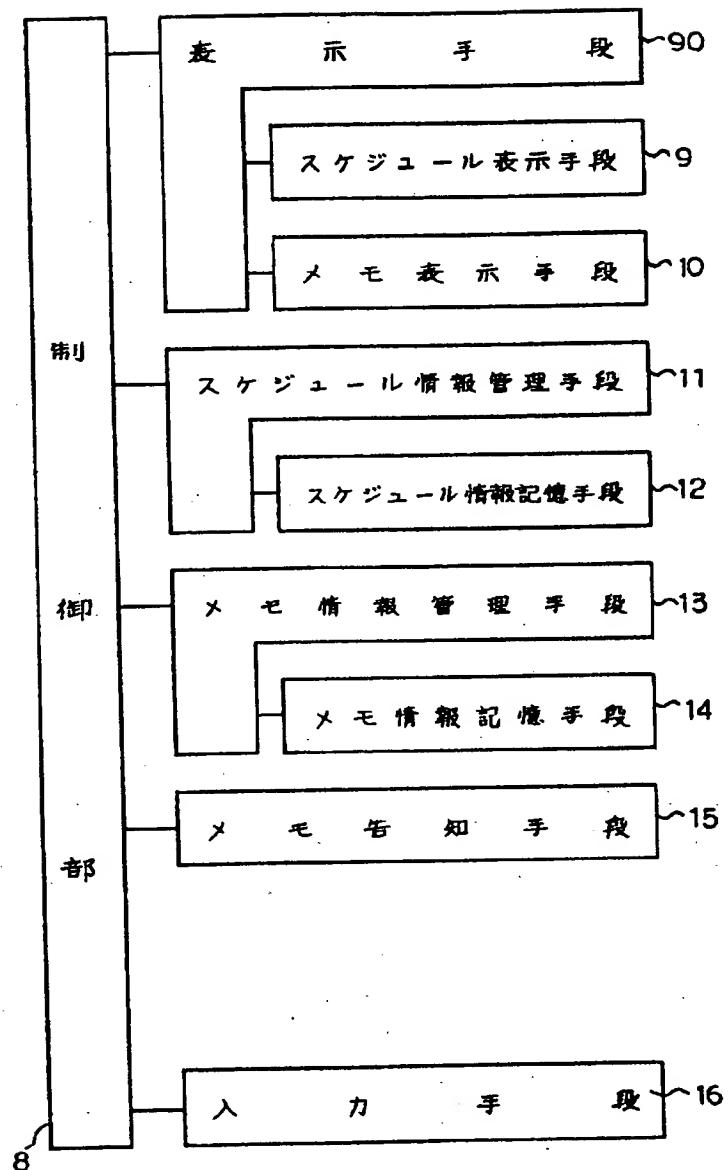
【図9】従来のスケジュール管理システムの構成を示すブロック図である。

【図10】この従来例においてスケジュール表示画面の一例を示す図である。

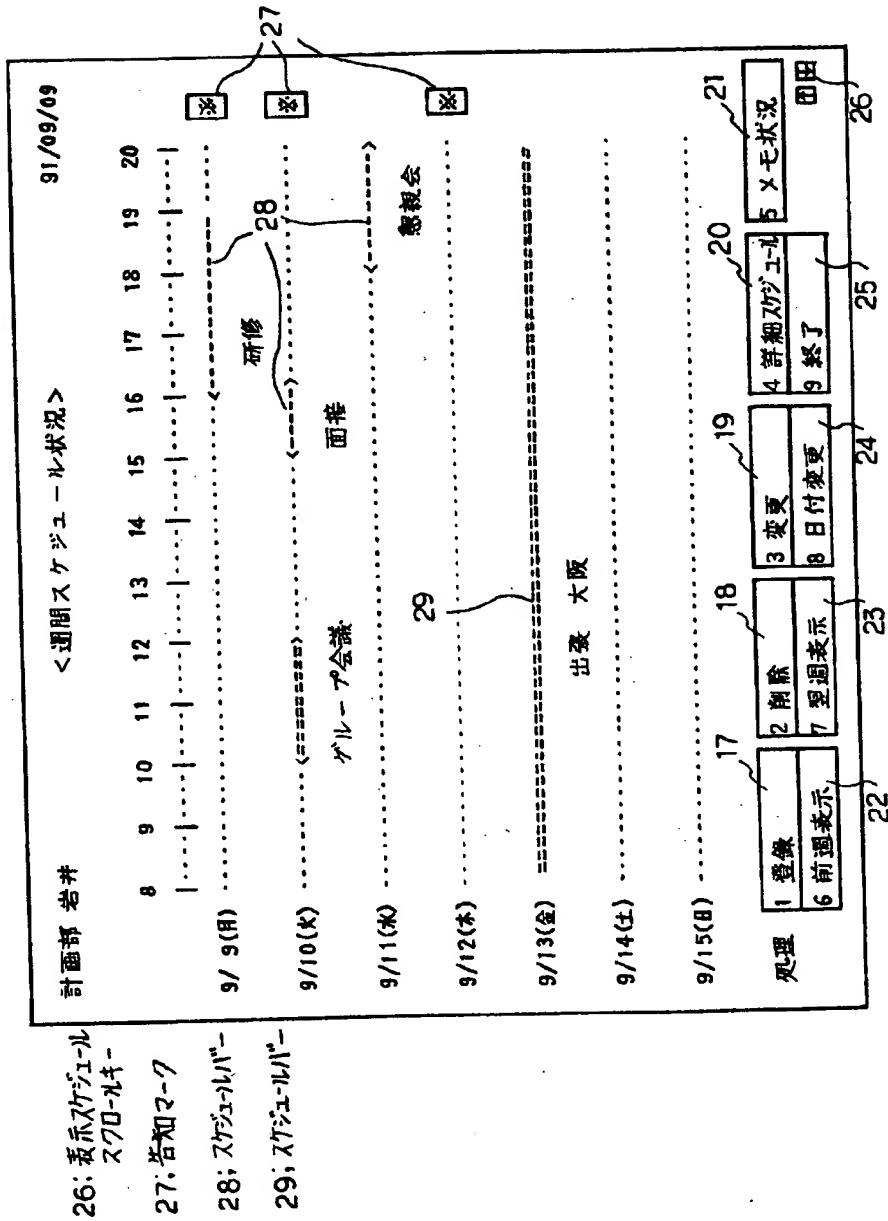
【符号の説明】

9	スケジュール表示手段
10	メモ表示手段
11	スケジュール情報管理手段
12	スケジュール情報記憶手段
13	メモ情報管理手段
14	メモ情報記憶手段
15	メモ告知手段
16	入力手段
60	ガイダンス管理手段
61	ガイダンス記憶手段
90	表示手段

【図1】



【図2】



【図3】

計画部 岩井 <メモ登録状況一覧> 91/09/09
34

登録スケジュール内容	メモ登録有無
研修	無
グループ会議	有
課長面接	無
懇親会	無
出張	有

処理 1 登録状況 2 引用 3 終了 四四
30 31 32 33:登録スケジュール
スクロールキー

【図5】

計画部 岩井 <期限切れメモ告知表> 91/09/09
47 48

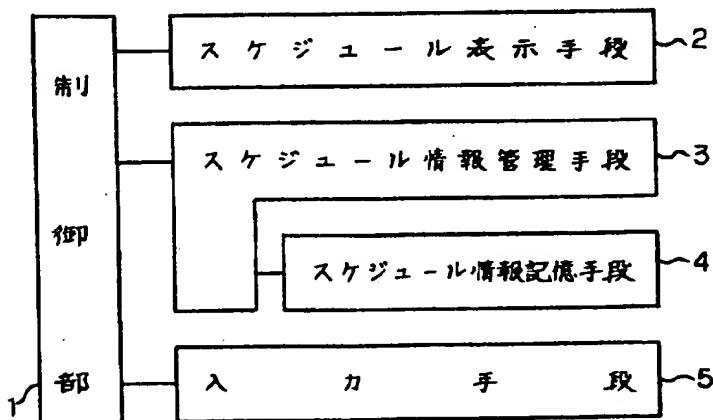
対象スケジュール 日付 時間帯/内容	期限切れメモ内容
1/09/09 10:00-12:00 グループ会議	配布資料の整備
1/09/13 08:00-20:00 出張	新幹線の切符の手配 出張先へ到着時刻の連絡 出張費前借り処理

処理 1 終了 四四

[図4]

計画部 岩井		<登録メモ一覧		91/09/09
91/09/10(火) 10:00-12:00: グループ会議		43	44	45
登録メモ内容	告知日時	完了区分	備考	
会議開催通知の作成 配布資料の整備 会議室の確保 議事録の作成	91/09/01 91/09/09 91/09/06 91/09/10	済 済	301会議室	
	35	36	37	38
処理	1 追加 5 完了取消	2 刪除 6 實行	3 変更 7 終了	4 完了 42:登録メモスクロールキー
	39	40	41	44

[図9]



【図6】

計画部 岩井	<ガイダンス引用>			91/09/09
会議用ガイド	49	50		
登録メモ内容	告知日時	完了区分	備考	
会議室開催通知 会議開催場所の確認 参加者の確認 配布資料の作成 議事録の作成 次回開催日の確認				
処理	1 裁定	2 終了		田田
	51			52:ガイダンス内容 スワローリキ

【図10】

□	□	□	□	□	□	□	登録氏名
							太郎
							花子
							鈴木 勇
							吉藤 光
							森 進二
スケジュール							
8/14							
8/15							
8/16		6					
8/17						7	
8/18							
8/19							
8/20							
セイ	前	変更	登録				

8月17日(水) 15:00 ~ 16:30 会場

[図7]

計画部 岩井 <ガイダンス登録／変更／削除> 91/09/09				
53				
キーワード	会議			
54				
登録×モ	会議室開催通知 会議開催場所の確認 参加者の確認 配布資料の作成 議事録の作成 次回開催日の確認			
55 56 57 58				
処理	1 登録	2 削除	3 変更	4 実行
	5 終了			
		59:ガイダンス登録 ×モスクロールキー		

【図8】

